

ハンググライディング日本選手権規則

1. 日本選手権開催年度と開催地

- 1-1. 日本選手権開催年度は 1 月 1 日より 12 月 31 日迄とする。
- 1-2. 日本選手権を開催しようとするものは、原則として各都道府県連盟内に日本選手権実行委員会を作り、日本選手権開催予定年度の 2 年前、12 月までに開催希望表明を JHF・HG 競技委員会へ提出しなければならない。
- 1-3. 日本選手権開催地は、日本選手権開催予定年度の前年 1 月の JHF 理事会において本決定する。
- 1-4. 日本選手権開催予定年度の 2 年前 12 月までに開催希望表明が提出されない場合は、前年 6 月の JHF 総会までに JHF・HG 競技委員長は開催地を競技委員会にて決定し、当該都道府県連盟に開催要請をする。

2. 日本選手権開催規則

- 2-1. 日本選手権実行委員会は日本選手権開催日 3 か月前までに、公認大会申請を JHF に申請しなければならない。
- 2-2. 日本選手権開催前年に同規模のプレ大会を同一エリアで開催しなければならない。ただし、ハングシリーズ対象大会を開催経験のある開催地はその限りではない。
- 2-3. 日本選手権は FAI カテゴリー 2 対象大会とする。
- 2-4. その他の規則は公認大会規則に準ずる。

3. 使用機体

- 3-1. 使用機体は JHSC の認定した耐空性基準の適合が証明された型式の機体とする。
- 3-2. 認定以前については使用機体の原産国(メーカー)の耐空証明が認められたものとする。

4. 参加資格および人数

4-1. 参加資格

- 4-1-1. 日本国籍を有する各都道府県連盟推薦選手(オープン参加の外国籍選手は除く)。
- 4-1-2. JHF フライヤー会員登録が有効なもの。
- 4-1-3. JHF クロスカントリーパイロット技能証所持者。
- 4-1-4. 心身ともに健康で競技に支障をきたさない者。

4-2. 参加人数

- 4-2-1. 前年度ハンググライディングシリーズ 10 位までの選手 10 名。
- 4-2-2. 前年度日本選手権 10 位までの選手 10 名(重複しても繰り下げない)。
- 4-2-3. 各都道府県連盟推薦選手 47 名。
- 4-2-4. 開催県連推薦選手 2 名。
- 4-2-5. 学生連盟推薦選手 2 名。
- 4-2-6. 女子世界選手権の派遣選手養成を目的とした JHF/HG 競技委員長が推薦する選手(最大 6 名)。
- 4-2-7. 残りの枠を定員まで、前年度ランキング順に上位から参加意思を示した選手に配分する。

4-3. 学生選手枠

- 4-3-1. 日本選手権枠に関しては、HG 学生リーグの規定に準ずる。
- 4-3-2. ただし、JHF 公認の学生フライヤー連盟主催大会のみとする。

5. 大会成立

- 5-1. ~~クラス 1~~ 日本選手権の成立要件はハンググライディングシリーズ運営規程の大会成立条件を満たし、かつ成立競技におけるディクオリティーの合計が 1.2 以上であることとする。
- ~~5-2. クラス 5 日本選手権の成立要件は、ハンググライディングシリーズ運営規程の大会成立条件を満たしていることとする。~~

6. 表彰

- 6-1. 総合 1 位選手を当年度の日本選手権者とする。また、女子 1 位選手を女子日本選手権者とする。
- 6-2. 日本選手権が成立した場合、JAA および JHF のメダルを授与する。日本選手権が不成立であっても、ハンググライディングシリーズ大会として成立した場合は、JHF のメダルを授与する。